

高退教

岡山

第 142 号

2015

年 8 月

岡山県高校・障害
児学校

退 職 教 職
員 の 会

目 次

会長あいさつ	萱 英次
1 戦争法をやめさせ、憲法が輝く平和な日本を次代に引き継ごう	
—岡山高退教第 36 回総会開く—	井上俊清 2
2015 年度新役員・総会アピール	
3	
戦争法案を徹底解剖—学習会「憲法と戦争法案を考える」—	山本和弘
5	
心豊かなひととき 高退教作品展（作品一覧）	
6	
美作支部研修会	草地浩典
8	
リレートーク 今話しておきたいこと	
「戦後 70 年の証言」—水島空襲の記憶	三宅通明
11	
—7. 26 国会包囲行動に参加して—	小川澄雄
13	
定期総会 返信ハガキの紹介	15

戦争法をやめさせ、 憲法が輝く平和な日本を次代に引き継ごう 岡山高退教第 36 回総会開く

「高退教作品展」の最終日に合わせて、7月12日(日)生涯学習センターで岡山高退教第36回総会が開かれました。

開会に先立ち全員で、『兵隊さんの汽車ポッポ』を浜越さんのアコーディオン伴奏で歌いました。

この歌は、童謡『汽車ポッポ』の元歌であって、戦前旧陸軍演習場があった御殿場駅から出征兵士を万歳！万歳！と見送ったもの…『♪兵隊さんに乗せて、シュッポ…僕らも手に手に日の丸の、旗を振り振り送りましょう、万歳！万歳！…』…二度とこんな世の中にしてはならないとの思いを込めて歌いました。



総会は、「おじいちゃんおばあちゃん達は憲法 9 条を守るために頑張った…と胸を張って孫たちに話せるよう運動を強めよう」との萱会長の挨拶に始まり、事務局提案(報告・協議事項)がなされました。また、『教え子を再び戦場に送るな！退職教職員 1 万人アピール運動』の中で作製されたポスターも紹介されました。



協議は、安倍政権が憲法 9 条を蹂躪して、日本を“海外で戦争する国”に作り変えようとしている緊迫した情勢を受けて、戦争立法にどのような姿勢で臨むかに議論が集中しました。予定時間を 30 分もオーバーして意見が交わされた後、全員の拍手で採択されました。

今年度から新たな役員として、事務局次長に美甘晃さんと居郷毅さん、旭東支部幹事に岡田憲朗さんが入ることが決まりました。

最後に総会アピールを力強い拍手で採択し総会を終えました。(井上俊清)

総会で選出された新年度役員は、次の通りです。

2015年度役員

会長	萱 栄次
副会長	難波 娃子 小林 軍治
	三上 雅弘 (岡山高教組委員長)
事務局長	藤原 斌
事務局次長	河原 和子 小川 澄雄
	藤原 洋平 山本 和弘
	美甘 晃 (新) 居郷 毅 (新)

幹事

岡山支部	井上 俊清 衣笠 祥子
	島田 宏恵 難波 欽子
備南支部	綾野 保晴 佐藤 菊江
旭東支部	岡田 憲朗 (新) 岡崎 秀穂
備西支部	清水 親義 西 功
備北支部	土井 彰 山本 浩
美作支部	山本 美佐緒 草地 浩典
会計監査	日高 忠男 田中 博
顧問	岩本 浩可 藤野 修二 鴨川 恵美子
	高垣 章二 中田 啓司

総会アピールー戦争法をやめさせ、憲法が輝く平和な日本を次代に引き継ごうー

6月23日、「沖縄慰霊の日」の戦没者追悼式で、地元の高校三年生、知念捷君が、「みるく世がやゆら(今は平和でしょうか)」と題した自作の詩を朗読し、深い感動を呼びました。「花を愛し 踊りを愛し 私を孫のように愛してくれた 祖父の姉」は、沖縄戦で22歳の夫を失い、遺骨も見つかっていません。無念を抱えて戦後を生きてきた彼女は、認知症を発症した今も、「すべての記憶が 漆黒の闇へと消えゆくのを前にして」、出征する夫を思う「軍人節」を繰り返し歌い続けます。「あなたが笑ってお戻りになられることをお待ちしております」と。詩は、古の琉歌を踏まえて、「弥勒世がやゆら」と何度も問いかけ、「伝えねばならぬ 彼女の哀しさを 平和の尊さを」と、平和を引き継ぐ大切さを17歳の胸に刻みつけようとしています。

安倍内閣は、「消費税率引き上げ延期の是非を問う」と称して、抜き打ちで強行した解散総選挙で多数議席を得たのを好機に、宿願の「戦後レジーム脱却」への道をひた走っています。最大の眼目として、今期通常国会では、会期を史上最高の95日間も延長して、集団的自衛権行使に道を開く「戦争法案」を、強引に押し通そうとしています。この法案については、衆院憲法審査会で参考人として招かれた三人の憲法学者が、全員「違憲」と明言したのにつづき、衆院特別委員会の参考人質疑でも、元内閣法制局長官の二人が、「(集団的自衛権は)進んで戦争に参加することで、国民を守るといふより国民を危険にさらす」(阪田雅裕氏)、「従来の憲法解釈と相いれず、憲法違反」(宮崎礼壹氏)などと厳しく指摘しました。批判の声は、閣僚経験者を含む古参の保守政治家や、現職自民党議員にも広がり、国民的な反対運動も、党派や思想信条を超えて大規模に繰り広げられています。各種の世論調査でも、批判と懸念の急速な高まりを伝えていきます。ところが、多数議席を恃む安倍内閣は、「合憲と考える憲法学者もたくさんいる」「憲法学者の数の問題ではない。」(菅官房長官)、「自衛の措置が何であるかを考え抜くのは憲法学者でなく政治家だ」(自民党高村副総裁)などと強弁する一方で、いみじくも若手議員の集まりで露見したように、乱暴な言論弾圧・報道統制への指向をあらわにしています。これらの事態は、九条のみならず、憲法の理念そのものを敵視する安倍政治の特異性を示すとともに、国民の意思や利益を踏みにじりながら、4月訪米時の誓約を最優先させるという、露骨な対米従属姿勢を発揮したもので、決して容認できません。

高知県の元中学校教師竹本源治さんは、教え子を戦場に送り出した自責と悲嘆を、「戦死せる教え子よ」という詩にあらわしました。そして、詩の最後には、「送らじな この身裂くとも 教え児をことわり 理 もなき 戦 の庭に」という痛切な誓いの歌が添えられています。

教え子の幸せな未来をこそ願って、教職の仕事に励んできた私たちは、ふたたび彼らを「ことわり 理 もなき 戦 の庭に」送り出そうとする戦争法案を許すわけにはいきません。そのため、私たちは、「未来をひらく憲法9条と子ども・青年の命を守る 退職教職員1万人アピール」にとりくみ、その声を広げてきました。戦後七〇年の今年、私たちは、まさに「この身裂くとも」の思いで、戦争法案反対の声を高く上げ、憲法が輝く平和な日本を次代に引き継ぐために、一人ひとりの持ち味と、専門性、つながりを生かして、全力で奮闘するものです。

2015年7月12日

戦争法案を徹底解剖

～学習会「憲法と戦争法案を考える」～

午後からの学習会では、弁護士の古謝愛彦（こじゃよしひこ）氏を講師に、憲法と戦争法案について、みっちり学ぶことができました。

講師の古謝氏は、沖縄県那覇市出身、通信社記者として岡山・仙台・神戸で勤務の後、弁護士に。現在「せとうちオリーブ法律事務所」を開設、障害者の65歳問題をめぐる訴訟（浅田訴訟）や、年金訴訟の弁護団の一人としても活躍されています。

古謝氏は、①集団的自衛権とは何か、②戦争法案の概要、③戦争法案の問題点、④最近の動き—憲法学者の見解、世論調査、⑤まとめ—戦争への道をくい止めるために何ができるか。という柱に沿って、詳細な資料を提示しながら、法案の全貌と問題点、運動の方向性などについて、かみ砕いて説明してくださいました。

以下、印象に残った点を箇条書きします。

- ・ 集団的自衛権とは、「他国防衛」であって、「自国防衛」とは次元が違う概念。
- ・ 過去、集団的自衛権の行使と称して始められた戦争が、実際には他国の内政に干渉する不当なものであり、国際司法裁判所(ICJ)等により断罪されている。
- ・ これまでの政府見解では、日本への急迫不正の侵害（武力攻撃）を排除するための必要最小限度の実力行使が認められているだけで、集団的自衛権は認められない。自衛隊は、「自衛のための最小限度の実力」であって憲法9条2項で禁じられている「戦力」には相当しない。この枠組みを取り払うと、自衛隊を合憲としてきた根拠も崩れる。
- ・ 講演、質疑を通して、「憲法は権力者の横暴を縛るもの」とするのが立憲制の原理であり、為政者が「解釈」によって憲法を変えるということは、それ自体憲法違反だという指摘が印象に残りました。

講師が帰られた後も、「隣国の無法が現に想定される時、ではどう対応するか」という踏み込んだ議論が、憲法擁護の側にも必要」「日本国憲法には、不徹底な部分もあると個人的には思うが、憲法の平和・民主条項にターゲットを絞って攻撃が加えられている今の局面では、『改憲』議論に乗っていくことは危険。」「強行採決の動きもあるが、国民世論は大きく変化し、安倍政治を追い詰めている。」「まだ国民の多くは等閑視しており、悲観せざるを得ない」などなど、議論白熱。場を変えての交流会でも、熱い議論が続けられたようでした。（山本和弘）

心豊かなひととき 高退教作品展

総会に合わせて7月7日~12日の間、今年も高退教作品展が開かれました。

出品作品の一覧は、次の通りです。（*印は協賛出品）

<絵画>

島田 宏恵 犬吠埼（油彩画）

菜の花の頃（〃）

鈴木 操子* 帝釈峡（油彩画）

武田 芳紀 黒い椅子にかける
N嬢（油彩画）

バリからの舞踏衣装を
まとう女（パステル）

化粧椅子（水彩画）

ナルシス（アクリル）

濱越 唯利 静かな湖畔の秋景

春。田井の浦

桃咲きそろう

（円城ふるさと村の春）

水間 正雄 黒田官兵衛の足跡を

訪ねて

三宅 瑞枝*塔見の茶屋（油彩画）

三宅 通明 野の花（水彩画）

村木 誠* 宝福寺（水墨画）

高野山（〃）

森定 博美 お雛様（油彩画）

山本恵美子* 山枇杷（洋画）

筍（〃）

渡辺 暉夫 裸婦（アクリル画）



<写真>

赤座 匡 ゴンゴの野郎たち

春気

難関

井上 俊清 縦長写真

岩本 浩可

龍を呼ぶ

脱却～高校生の演劇～

鎖～宮沢賢治オツベルと象より～

三宅 茂子* 野鳥

三宅 通明 幸の青い鳥

山本 和弘

ちひさきものはみなうつくし

(組写真)

<書>

生田 孝仁 黒住宗忠ご神詠

〃

小川 澄雄 あしひきの山吹の花

佐藤 菊江 園梅甲折

花谷 純夫 掛軸

三宅 茂子* 白砂青松

横田廣太郎 相田みつおの言葉

<手芸・服飾>

河原 和子 手織りのスカート

パッチワークのタペストリー

衣笠 祥子

パッチワーク タペストリー

久保田節子* 絣織のベスト

絣織のチュニック



柴山小津枝* お手玉

島田 宏恵

着物から作ったエプロン

アームカバー

田中 豊子

タオル布地の玩具、ボール

タオル布地の玩具、まり

布製の玩具、花の鉢

鳥取 純子

絣織の作務衣

絣織ののれん

絣織のランチョンマット

手紡ぎ糸の半幅帯

難波 欽子 柱掛け

テーブル掛け

森定 博美 セーター

ベスト

<ペーパークラフト>

綾野 保晴 ジオデシックドーム

<書籍>

鴨川恵美子 続 ふたりの完結

衣笠 祥子 金平ざくらのものがたり

高垣 章二 その時 10 歳のわたしは
戦争体験記 (操五会傘寿記念誌)

<備北支部交流会作品>

(紙漉体験)

・色紙 3点、

・小うちわ 9点

前号会報につづいて、春の支部別交流会の様をお知らせします。

今回は美作支部からの報告です。

美 作 支 部 研 修 会

美作支部 草地浩典

2015年4月22日(水)美作支部の研修会に17人が参加した。他支部からも参加いただいていたありがたかった。

まず、鎌倉新仏教浄土宗の開祖法然の誕生時を訪れた。毎年実施される二十五菩薩練供養(法然上人両親追恩供養、毎年4月第3日曜日)が盛大に挙行されたあとでその余韻が残っていた。はじめに、漆間住職から法話をいただきその後宝物等を鑑賞した。ユーモアをまじえながら具体的でわかりやすい内容であった。従来の仏教界にあった貴族等の特権階級のみが救済されるとされた現状に対して念仏を唱えるだけで誰でも等しく救われるとの新しい理念を提示したのが法然であること、また、煩惱の深い人間(悪人)こそ救われるという悪人正機説は世間では親鸞が唱えたとされているが実際は法然にその源流があると説かれた。



お七の着物

激しくも悲しい「八百屋お七」の話は有名であるが、そのお七の着物が江戸の増上寺から移されて誕生寺の観音堂におかれていたが恋の成就を願う人々により着物の一部が持ち去られて残り少なくなり今は本堂に移されている。この話は初めて聞いたので印象深い。その他法然上人お手植え銀杏、旅立ちの法然様、法然産湯の井戸、片目川等鑑賞には事欠かない。ぜひ訪ねていただきたいと思う。

片山潜（1859～1933）は、社会主義運動の指導者として日本のみならずアメリカ、ロシア等世界を舞台にして活躍した。1990年に久米南町羽出木の出生地に設立された片山潜記念館を訪れ、地元の政広伶子さんに説明していただいた。



郷土の友人に宛てた手紙、活動の様子の写真などが展示されていた。ロシアで終生生活し彼はふたたびふるさとの土を踏むことはできなかった。望郷の念いばかりかと思われる。遺骨はスターリン、モロトフ、

日本からの野坂参三たちによって運ばれ、クレムリンの赤壁に納められている。羽出木の地から大きく羽ばたき信念に生きた彼のスケールの大きな、エネルギー溢る姿に圧倒された思いであった。

記念館の管理をされている親戚の藪木さんによると、潜の長女でロシア在住の「ヤスさん」が生前ロシアから来日し、生誕地を4回ほど訪れたそうである。また、藪木さんが家族から聞いた話によると、片山潜からの郵便物は配達人が来たとき官憲が来て、すべて持ち去った。かろうじて、潜の友人の家本正武（神職）宅は難をまぬがれ、書簡等が記念館に展示されている。戦前の治安維持法下の社会状況を端的に示している。

「月の輪古墳」は現久米郡美咲町飯岡（ゆうか）の吉井川と吉野川の合流地点の山上にある古墳である。「月の輪」のいわれは古墳を下から眺めるとその姿が月の輪に見えるから名がついたという。1953年8月から12月まで村内の住民、労働者、考古学者、小・中・高の生徒、教師など延



月の輪古墳の頂上

べ1万人が発掘調査にかかわり、戦後考古学の原点とも言われたのがこの取り組みであった。

中学生の時発掘に取り組み、現在もずっと活動されている角南勝弘氏から詳しく説明していただいた。まず、記録映画「月の輪古墳」(約30分)を鑑賞した。発掘そのものもさることながら、当時の生活の様子も知れて貴重な映画であった。展示されている陶棺、埴輪などすべてがレプリカでなく実物であるのが大変貴重で珍しいことであった。

「葺石はどこから運んだのか、陶棺を焼いた場所は」などの質問が出た。その後、月の輪古墳に上った(現在は道路が整備されている)。眼下に広がる風景を眺めると、古墳当時の人々の生活、社会のありよう等が想像され、あらためて現地に立つことの重要性を痛感した。

「月の輪古墳」は「登呂遺跡」とともに戦後考古学の原点と言われ、現地説明会の先鞭をつけたとされている。三笠宮も現地を訪れ、新しい国民的歴史学の動向について述べている。映画は諸般の事情により文部省推薦映画にはならなかったが、湯郷出身の小説家・評論家の阿部知二(1909~1973)が「日本読書新聞」に月の輪について文章を寄せ、好評を博し全国に広まった。なお、発掘の翌年から今日まで毎年盆の恒例行事として「月の輪おどり」の唄に合わせて盆踊りや映画鑑賞を行い、発掘当初の熱い思いを継承している。この「月の輪おどり」の作曲は音楽家の箕作秋吉で洋学者箕作阮甫から3代目にあたる。作詞は詩人の永瀬清子である。

今回の研修会は、時間的に余裕がなく十分な懇談ができなかったのが心残りである。作品展での作品の管理の問題や、年金問題が少し話題になった。

垂井一新、山本宣子、両先生には幹事として長い間美作支部のためにご尽力いただきありがとうございました。ご苦労様でした。

いま、話しておきたいこと

会員の皆さんの「いま、話しておきたいこと」を、リレートークでつないでいく企画です。今回は、三宅通明さんの「戦後 70 年の証言－水島空襲の記憶」をご紹介します。（次号からも、連載予定です。ふるってご投稿ください。）

「戦後 70 年の証言」－水島空襲の記憶

三宅 通明

山陽新聞に「記憶を継ぐ－戦後70年の証言」という岡山空襲の記憶が連載されている。

私が住んでいた連島からは岡山空襲は東の空が真っ赤に見えたということですが、夜だったので寝ていて知りません。水島空襲は覚えていますので忘れないうちに語り継いでいきます。

70年前の6月22日朝、私は、水島が見渡せる連島町大江の自宅の庭に掘られた防空壕（菜園の庭を掘った）の中に家族と居ました。祖母だけは、何処に居ても死ぬのは同じだと、防空壕に入るのを拒んで入りませんでした。

当時4歳の私は岡山市の空襲は覚えていませんが、水島空襲は覚えています。兄が覗き穴から外を見せてくれました。夏の青い空に、幾筋もの真っ白い飛行機雲が入り交じって浮かんでいました。恐らく、松山の航空基地から飛び立った源田部隊の紫電改が、迎撃戦を挑んだのでしょう。

爆撃が終わり空襲警報が解除されてから、近所の人が隠れていた共同の防空壕がある裏山に上がり水島方面を見ると、まだ爆撃による火災の黒い煙が上がっていました。その時、東の方から飛行機が二機飛来し、ドンドンと爆弾か高射砲の発射音かのような音がしました。飛行機は反転して逃げて行った様に思いました。

大人になってその話を兄弟にすると、そんな事は無なかった、4歳のお前にそんな記憶があるはずが無い、と否定されました。そうかなと思っていましたが、10年程前水島空襲を調べていた日笠先生の調査記録に、6月22日姫路空襲に来たB29二機が、残った爆弾を海上投棄するより有効活用しようと、水島に廻って投下した

と米軍の記録に残っている、とあるのを発見して、私の記憶が間違いなかった事が判りました。

三菱水島工場では、一式陸攻が生産されていましたが、その1号機が完成した時婦人会の人が日の丸の小旗を持って祝賀に行くのを、姉の自転車の後部座席で見た記憶があると言っても、そんな小さいときの事を覚えているはずが無いととり合ってくれませんでした。終わり頃には川西の紫電改も作ったが完成したのは数機だったようです。当時三菱に務めていた長兄は、川西と三菱では設計図の描き方が違うので苦労したと言っていました。

務めていた工場が壊滅した兄は、その後軍隊に招集されたようです。昭和20年の夏の終わり頃の夕方、家族が裸電球の暗い部屋に集っていた時、我家に向かう石段を上がって来る軍靴のカッツ！カッツ！という音が響いて来ました。(昔は靴の裏に鉄の鋌が打ち付けてありました)姉が「あっ！兄さんが帰って来た」と言うと、その場がぱっと明るくなったように感じました。その後どのような展開があったかは何も覚えていませんが、兄が復員して来たあの靴音だけは良く覚えています。

兄弟と言っても、16歳も年が離れていると話しをする事はほとんどありませんでしたので、一ヶ月少々の兄の軍隊生活がどんなものだったか全く知りませんでした。最近時々ハガキのやり取りをする様になりました。兄は定年退職後NHKの短歌教室に入って勉強したようです。その教室の仲間で作った短歌の本が送られて来た時に、兄の「軍刀を抜いて我に特攻を迫りし上官あり・・・」という歌を目にしました。飛行機は作っていたけれど操縦も出来ない兄にどんな特攻かと思って質問したら、次の様な返事が来ました。

「8月15日負けたと判った時、中隊長が地上勤務の者、整備兵も含め全員を乗せ四国沖の米軍攻撃をすると云い、16日に赤飯を食べて出撃のお祝いをしたが、翌日作戦中止命令がきた。九十年生きたが、生きて良かったとは思わない。」と書いてありました。最後の「生きて良かったとは思わない」という兄の思いを知った時、切ないと言ったら良いのか無惨と言った良いのか表現しがたい感情に襲われました。

(完)

戦争法案を廃案に！の声大きく広がる

7. 26 国会包囲行動に参加して 小川澄雄

「戦争法案を廃案に！」の声が日に日に大きく広がっています。岡山でも弁護士会が呼びかけた「戦争法案の成立に反対する市民集会とパレード」が7月25日に行われ、岡山としては最大規模の1500人を超える人々が参加し、法案阻止の声をあげました。

高揚した気分そのままに翌26日東京に向かいました。この日、「強行採決抗議！ とめよう！戦争法、集まろう！国会へ！ 7・26国会包囲行動」が取り組まれたのです。



岡山高退教からは、私ひとりだけの参加です。集合場所の国立国会図書館前には開会の1時間以上前に着きましたが、退教の人を含め人々が集合し始めていました。退教の集団は全教と国民救援会の人々に左右を挟まれる形で、新調された「教え子を再び戦場に送るな」の幟の下に布陣。

開会30分前には身動きしづらいほどの人・人・人の波。車いすに乗った人や白杖をついた人も数多く参加していました。衆参の国会議員会館前から国会図書館前、憲政記念館前、外務省前、内閣府前と、国会議事堂を文字通り十重二十重に包囲してしまいました。

14時きっかりに開会。プログラムは「シュプレヒコール」から始まりました。

「戦争法案今すぐ廃案！」「国際戦争支援法反対！」「戦争する国絶対反対！」「戦争反対！9条守れ！」「安倍政権の暴走止めよう！」「みんなの力で暴走止めよう！」スピーカーから流れてくる司会者のリードにあわせて声が響きわたります。地の底から湧きあがるような声が腹に響いてきます。私自身もみんなに負けじと声を張り上げました。

最初にゲストスピーチをしたのは精神科医の香山リカさん。憲法違反の戦争法はどうしても阻止しなければならない、また阻止できると訴えました。

再度のシュプレヒコールの後、政党代表がつぎつぎあいさつ。民主党の蓮舫女史・日本共産党の山下書記局長・社会民主党の吉田党首がスピーチしました。生活の党からもあいさつが予定されていましたが、よんどころ無く不参加とのこと。「国会の議員数では野党が少数で、法案成立は必至のように見えるが、悲観することはない」「主権者国民の多数は戦争法反対であり、どの世論調査でも内閣支持率は急速に下がっている。国会外の国民運動が大きく広がれば法案阻止は可能だし、安倍政権を退場させることができる」「野党少数とはいえ、参議院で審議を尽くし法案の違憲性を明白にしていく」とこもごも語りました。



三度目のコールが国会議事堂に向け響きわたります。

ゲストスピーチが続きますが、司会者がどう紹介したのかはつきり聞き取れません。沖縄・名護市から青木？さん、立憲・・・の会の山口？さん、日弁連の福山さん。連帯あいさつになると、だれからの挨拶なのか、わからなくなってきました。イケヤマさん、ルポライターのカマダサトシさん、学者の会の人、マミヤさん、評論家のサカタマコトさん・・・。とにかく、多くの人たちが「「安保関連法案」を廃案に！」の思いをもって行動に立ち上がっている、声をあげていることがわかりました。

また、今回は配置についている警察官からも好意の目を向けられていることを感じました。

憲法違反の法案を許さない！！の思いを強くして帰途につきました。

皆さん、いかがおすごしですか？

2015年 高退教への返信はがきより(順不同)

- ◆昨年度のみどりワークセンターから名称を変更し、あおば・みどりとなった旭川荘あおばで知的障害者といっしょに竹を焼いています。彼らは竹を切ったり、割ったりとすごく楽しく活動しています。私も品質の良い竹炭、そして竹の成長を支える竹酢液を大量に集め商品化しています。もしよろしかったらご相談、ご購入よろしくお願ひします。(友直久徳)
- ◆ポツダム宣言すら“つまびらかに読んでいない”総理が戦争への道を突き進むようとしています。憲法を守り、平和と民主主義いのちとくらしを守るためできる事をがんばります。(赤木洋子)
- ◆議案、全面的に賛成です。みなさんのご健勝とご活躍を願っています。(安東誠)
- ◆岩本先生にいつもご面倒をおかけしています。総会のご盛会を!!(妹尾文人)
- ◆最近歩行困難極まるというところでは。さて意見として実は現在、県下の養護学校は、支援学校と改名されております。「障害児学校」を「支援学校」としてはどうでしょうか。(横田春美)
- ◆農作業で欠席致しますが、よろしくお願ひします。私は非常勤でまだ頑張っています。(林哲士)
- ◆新聞記事で湊かなえさんという小説家がウォーキングよりも縄とびが効果があったと書いていた。最初あなどっていたが毎朝トレーニングをしている。(年齢+ α が限度回数なので)そこまでやったら目標達成ということにしている。(戦争になっても生きのびる体力づくりのためです)(汗)(井上けんじ)
- ◆退職して4年目を迎えています。時々現職の友人たちと食事会をして楽しいひとときを過ごすことがありますが、現場の先生たちは厳しい状況におかれ、多忙化・過労で大変な様子。平和な日本や世界にするには平和の尊さを学ぶ心を育みたいものですね。(北嶋裕子)

- ◆毎日農作業、高校の非常勤講師、同居している 2 人の孫の守など忙しい日々を過ごしています。いつもスイカやカボチャを植えている私の畑が発掘の対象となり、どうやら造山古墳の陪塚らしいと専門家が分析しているようです。今年度もまた発掘するそうです。造山古墳のボランティアガイドになって、歴史を学習しているところです。(定広輝海)
- ◆総会には今回も出席できません。中国に行っている頃です。夫・康載も今は在中です。二人ともまずまず元気です。映画「校庭に東風吹いて」(柴垣文子原作)の製作支援をすることになりましたのでその節にはよろしく。(曾田和子)
- ◆「フリースペースあかね」の代表を 3 月で降りて若者に譲ることができました。これからは「あかね」にも気楽にかかわりながら、世界史の講義を公民館などで楽しく続けたいと思っています。(徳方宏治)
- ◆いつもお世話になっています。(米山伯治)
- ◆4 月 16 日にはお世話になりました。とてもよい気分転換になりました。日曜日はデイサービスが休みなので一日母と過ごさないといけません。勝手にしますが、よろしくお願いします。(12 日には予定が入っていました。)(大西淑江)
- ◆お世話になっています。病院通いがふえましたが、元気にやっております。(岡本逸郎)
- ◆ボランティアと高校の非常勤講師をしながらぼちぼちしています。囲碁は上達しません!!(片山郁夫)
- ◆当日は書道の審査会(書道研究墨友会の副会長をしています)があり、欠席させていただきます。作品は出品しますので午後 4 時受け取りにいきます。よろしくお願い致します。総会の御盛会をお祈り申し上げます。(横田廣太郎)
- ◆難聴です。補聴器のお世話になってはいますが、一対一の時のみ有効です。音源が二つ以上あれば、すべて騒音です。先日中学一期生の同窓会へ出てみましたが、隣の人と話したことの他は何も聞き取れませんでした。(岩上隆雄)
- ◆夏に開催されるボーイスカウトの第 23 回世界ジャンボリー、7/29~8/8 山口市き

らら浜、参加者現在 33000 名 162 ヶ国、大会本部のスタッフで 7/23～8/11 まで会場に行く予定です。(岡本耕始)

- ◆農作業の日々です。12 日は「山の会」の山行と重なり、総会は欠席します。「秋の自然歴史探訪」楽しみにしております。(中山実典)
- ◆投葉・通院多く、歩行に不自由しています。祈盛会。(立石喜平)
- ◆2015 年度活動案に賛同します。役員の方々お疲れさまです。竹本源治氏の「戦死せる教え児よ」に深く魂が揺さぶられました。(鈴木實)
- ◆再任用ハーフで西大寺高校に週 3 日通っています。毎日追われる日々から少しゆとりができ、国会の議論もLIVEで見ている怒っています。寂聴さんも国会前で演説されましたが、みんなが声あげる時だと思う日々です。高退教1万人ポスターすてきです。(花田千春)
- ◆日曜日がほとんど埋まってみますので参加できません。御盛会を祈ります。(八木和一)
- ◆いつもお世話になっています。(柴田正憲)
- ◆昨年夏から介護保険の適用を受けて、デイサービスリハビリに殆んどの日に出かけています。(施設の送り迎えがあります) 憲法違反の戦争法案に反対し“教え子を再び戦場に送らない”たたかいへ、高退教も他団体と協力して取り組みましょう。(要望)会報の字をもう少し大きくプリントしてください。(藤野修二) *要望に応えるようにします……事務局
- ◆野菜づくり、父の介護、そして時々一般相対論の日々を送っています。議案についてはよろしく願いいたします。(三村茂)
- ◆元気に遊んでいます。お医者様にはもう何年も会っていない状態です。有難いことです。春には娘の婚家先の両親と旅行を楽しみました。次回も約束して別れました。また旅行仲間が増え(10 組近く)忙しくなりそうです。お金も忙しくなりそうです。体を鍛え元気を保たねば……(河原和子)

- ◆近頃体調が思わしくなく、残念な日々を過ごしており、ご無沙汰ばかりの上に、総会・懇親会とも欠席させていただきます。誠に申し訳なくよろしくお願いいたします。皆様のご健勝を祈っています。(高坂富彦)
- ◆「孫守りなし…今がチャンス！」とばかりに。3 週間余り“北海道最果て巡り”の旅に……7 月 1 日、帰ってきたところです。(井上俊清)
- ◆連絡が遅くなって済みません。最近、何かとバタバタすることが多く、作品展まで気が向きません。畑作業だけはしっかりやっています。(板津定邦)
- ◆スポーツ好きの私、山のゴルフはできなくなり平らなところのできるパークゴルフに変えて楽しんでいます。下は芝生なので足にやさしい。(金田光代)
- ◆高退教の会報を読むのが楽しく、会員の近況や行事の報告などいつも関心を持って読みます。(行事には用事が重なって参加できないことがおおくりました。) 署名などの取り組みにはできるだけ参加するつもりです。(田中豊子)
- ◆ようやく以前の平穏な生活に戻りました。微力ながら仕事ができる喜び、趣味や旅行など自分の時間がもてる喜び、支えてくれる家族や仲間がいる喜び、そして何より健康であることの喜びを改めて感じています。(島田宏恵)
- ◆京山公民館での体操教室が終了してからの参加です。昼頃になって申し訳ありません。(難波欽子)
- ◆お世話になります。老親とすごせる時間をありがたく感じながら、実家の農業に勤んでいます。まだまだ未熟な農婦ですが、父の指導のもとがんばっています。(末石範子)
- ◆私用ができましたので欠席させていただきます。再任用ハーフ勤務が板についてきました。(田中和男)
- ◆昨年転居し、現在東京都八王子市に住んでいます。八王子は緑豊かで住環境はとてもよい所ですが、都内 23 区と比較して冬は数度気温が低く、寒い地域のようなです。春は花粉に悩まされましたがとてもよいところです。高尾山も近いので、お出かけの折にはぜひお寄りください。(河内郁子)

- ◆病氣中です。2年も続いています。(篠原和子)
- ◆行くつもりでしたが、用事ができて欠席します。(三宅淑美)
- ◆戦争法案を廃案に！ 憲法とともに歩んだ人生を無にしたくない。日中不再戦は憲法9条を生かす道の立場で、今後も日中友好運動にとりくむ。(小林軍治)
- ◆お世話になります。よろしく願いいたします。(鷺見勝由)
- ◆日常的には、年金者組合、玉野九条の会を中心に年金裁判、戦争法に反対する活動など課題は山積です。多くの方々と力を合わせて廃案に追いこみたいと思っていますが……。(濱越唯利)
- ◆年会費納入率 100 パーセントは当然のことと思います。現会員数が何人かわかりませんが、400 人会員の可能性があるのでしょうか？
- ◆脳梗塞、大腿部骨折の後遺症のため、歩行がままならず、家に籠もりがちです。そういう状態と慣れてきたのが現状です。総会には何とか出席して、皆さんにお会いしたく、エネルギーをいただきたいと期待しています。(鴨川恵美子)
- ◆齢の割には元気です。現在は毎日別に何もしていませんが、ボケ防止に読書をしています。山本一力にこってます。現在の暮らしより江戸時代の暮らしの方が人情があって庶民は助け合っていたのでは？……(難波娃子)
- ◆年を取るにつれ、参加ボランティアの数がふえています。おかげでとしをとるのも忘れそうです。(萱栄次)
- ◆東京へ行くことが多いので、地震がいつも気になります。(武田昭一)
- ◆当日行き届いた教育を求める岡山県民の会の総会があり、高退教の総会は欠席いたします。6月に辺野古支援に行ってきました。戦争法案も絶対阻止しなければなりませんね。(正保宏文)
- ◆欠席させていただきます。定期総会の御盛会を期待しております。昨年 11 月、台湾で鄧麗筠(テレサテン)、宋慶齡陵閣で内山完造夫妻の墓詣りができました。冬は体調が悪くてじっとしていましたが、春以降回復し6月、BENELUX3国鉄

道・美術紀行しました。フェルメールの作品を6点、故郷のデルフトでフェルメールの足跡をたどりました。また、ブリューゲルの作品を6点、ブリュッセルでの住居、葬られたノートルダム・ド・シャペル協会を訪ねることができました。(稲田裕彦)

- ◆4年前に骨折で車椅子生活になりました。デイケアに週3日ヘルパーさんに2日来て貰って元気にすごしております。72才になりました。(岡本和子)
- ◆大変お世話になり感謝しております。今年度の議案書をひと通り目通しさせていただきました。全議題に賛同いたしますのでよろしくお願いします。私も八十路に入り遠出も思うように出来なくなりました。その上主人の看病もあり、各行事に参加できず残念です。どうかこの上は若い先生方のより一層の活動方よろしくお願い申し上げます。総会にご盛会をお祈りしております。(平松芳子)
- ◆非常勤講師で週4日勤務しています。(石川昌宏)
- ◆週20時間の短時間勤務をしています。(大島伸政)
- ◆アベという人が、戦争法案を持ち出したりするので、黙っているわけにもいかず、仕方なく反対の街頭演説に参加しています。(武田小夜子)
- ◆車の免許を返納して、児島の辺鄙な団地で生活しています。気付けばまわりの小さな店はすべてなく、スーパーまで歩くには少々遠い不便な生活です。何はともあれ戦争法案は阻止しなければいけませんね。(小山公子)
- ◆今年5月より、児島の佐藤眼科で、週3日(半日)看護師として働いています。慣れない仕事で右往左往しています。(岡田純爾)
- ◆いつもお世話になりありがとうございます。今回は前の職場で集まりがあり、神戸へ出向きます。支部の交流会や歴史探訪には楽しく参加させてもらっています。今、日本はどの道に進むのかを、厳しい目で見つめ、声をあげていこうと思っています。(山口京子)
- ◆昨年母を亡くして放心状態でしたが、この頃元気を取り戻しました。またよろしくお願いします。(穂田久子)

- ◆7月13日から修学旅行の引率で宮内庁書陵部に行きます。戦国時代の貴族日記(政基公旅引付)を見ます。9月に世界記憶遺産になる東寺百合文書の特別展が岡山県立博物館で開催されることが決まりました。来年の秋に「中世荘園の世界」(仮題)で新見荘を中心に展示されます。お手伝いできて、再任用の最後の年がワクワクした気持ちで過ごせそうです。皆様も是非お運びください。(辰田芳雄)
- ◆加齢とともに筋力・金力は低下しておりますが、まずまず元気に過ごしております。(三宅通明)
- ◆思うだけでなく言葉に出し、行動しなければいけない時代になってきたなど感じています。(井上進夫)
- ◆先生方のご多幸をお祈り致します。(三澤啓二)
- ◆議案全面賛成。議案書の資料に掲げられた「戦死せる教え兒よ」の詩句をあらためて噛みしめています。大阪に出たの教職生活が最初でしたが、「教え子を再び戦場に送るまい」のスローガンは、私の教職員、組合活動の背骨にありました。初志を貫徹しなければなりません。後期高齢者ですが、まずは元気です。(竹内良雄)
- ◆退職互助会赤磐支部に所属して交流参加しています。こちらは参加していませんが、毎回通信が届くので楽しみにしています。お世話になります。(門野順子)
- ◆退職後の集団があること、心強く思います。補聴器を装用していても、聞き間違い、聞きもれが多くて、近くにいる通訳(奥さん)に助けをもらうことが多いです。(池上貴久雄)
- ◆第2日曜日はボランティア活動日ですので、やむなく欠席します。(荒木敏和)
- ◆いつも勝手ばかりで申し訳ございません。(山本嘉子)
- ◆ご案内を頂きありがとうございます。なかなか参加できず申し訳ありません。岡山市から倉敷へ引っ越してきて1年余りになり、もうこちらでの生活になれました。孫(3人)たちのお世話のお手伝い、大家さんに貸して頂いたちいさな菜園で畑

仕事(?) きゅうりやとまとが実をつけ、今年はズッキーニも種をまき、今花が咲きました。瀬戸内市糸あやつり人形劇団つきみ草の仲間に入れてもらい、今は8月22～23日に催される人形フェスに向けて「雪んこ」の練習をしています。歌もうたったり、読み聞かせなどのボランティアもさせてもらい、子ども達や、みなさんに元気もらっています。体に気をつけてこれからも、一杯楽しみたいと願っています。御盛会をお祈りします。(佐藤美加恵)

- ◆すでに予定が入っていますので欠席します。盛会をお祈りします。(湯浅二郎)
- ◆岡山理科大学科学ボランティアセンターに勤務しはじめて5年目になります。今年はその仕事に加えて、岡山市のNPO法人と岡山市教委が行っている「シニアスクール」の講師に出かかっています。岡山市内の小中学校で、少子化に伴い空き教室が増え、それを使ってシニア世代が学ぶクラスを作っています。その学校の時程にあわせていろいろな教科の授業が行われています。私は、社会科の授業を久々に担当しています。シニア世代とは言え(だからこそ)学習意欲の高い生徒の皆さんとの授業、なかなかやりがいがあります。講師も小中高の退職教員が主に担当しています。高退教の先生がたもぜひ講師に加わっていただきたいです。(武田芳紀)
- ◆当日、演劇の鑑賞をすることになっているので失礼させていただきます。(木村信行)
- ◆先日第42回自然歴史探訪に参加させていただき、皆さんの元気な姿を見て元気をもらった感じです。総会には出席できませんがご盛会をお祈りしております。(井上了)
- ◆自分の時間をリハビリや旅行、子どもの勉強とに費やしています。皆様もお体にお気を付けください。(塩飽英明)
- ◆総会の成功を祈ります。
- ◆昨秋、大河ドラマ「軍師官兵衛」ゆかりの地、中津城(大分)へ元同僚らと訪れた。水陸交通の要地、天守閣からその様子がわかった。市内の赤壁寺へ、宇都宮

氏の家来を殺害した当時の刃傷の痕が柱に残っているのを確認。ドラマが身近に感じた。5月の自然歴史探訪で、大河ドラマ「武蔵」のロケ地、“佐波良の大杉”へ、武蔵が吊るされる名シーンが思い出され、この木のすばらしさに圧倒。(浅野秀夫)

- ◆大変な時代になりました。心配です。自然の恵みに感謝して田畑で野菜を作って友人に配っています。(藤沢 雅)
- ◆毎日元気に生活しています。(久戸瀬邦夫)
- ◆母校の同期会の開催に向けて、各種連絡その他に多忙です。高齢者の仲間入り…となり、時に病院通いが常のこととなりました。(奥島弘子)
- ◆2本のストックを使って付近の山を歩いてリハビリに努めています。当日あいにく他行事と重なって出席できません。西先生、清水先生によろしく。毎日、新聞、テレビを見て腹を立てています。予想されていたとはいえ「小選挙区制」が大失敗でした。テレビのニュースは見ないことにしています。(岡田 潤)
- ◆「高退教岡山」いつもありがたく拝見しております。後期高齢者の仲間入りをし、白内障の手術も考えるようになりました。御盛会をお祈り致します。(滝澤紀子)
- ◆だれも安倍を止められないのか、政治家としての良心はないのか、などと思いながら新聞を読んでいます。自分は、というと何もしてなくてすみません。ぼつぼつと暮らしています。(岡本チエ)
- ◆残念ですが他用があり出席できません。元気でやっております。(西功)
- ◆連絡が遅れ申し訳ありません。元気で日々を暮しています。傘寿を迎えた母がいますので遠出の旅行等は出来ません。公民館講座の受講、竹喬美術館友の会の旅行を楽しみにしています。67才になりました。(大月知久)
- ◆週に2, 3回趣味の囲碁を楽しんでいます。毎日犬の散歩をしています。(富田 眞雄)
- ◆他行事と重なっています。申し訳ありませんが欠席させていただきます。盛会を

お祈り致します。(土井彰)

- ◆自分の持ち時間を有意義に使える自由人として生活したいと日々歩みを重ねています。(難波誠)
- ◆早いもので退職して5年目を迎えました。いよいよ高齢者の仲間入りですが、暗いニュースばかりでうんざりの毎日です。せめて高退教くらい明るく、と宴会係として頑張っています。(藤原洋平)
- ◆総会の日親族の法要のため出席できません。春の自然歴史探訪は毎年5月下旬の日曜ですが、地域総出の溝そうじが定例行事です。毎年残念。倉敷昆虫館の勤務が10年となりました。地元で生息する昆虫(甲虫のみ)調査も順調です。年金者組合、地域老人クラブなどの役員をしながら、野菜づくりにも励んでいます。(岡本忠)
- ◆最近読む本は「絶対ボケない頭をつくる！」とか「もの忘れ外来100問100答」「新・幸福論」など、見るテレビは健康番組中心、一番に開く新聞は「おくやみ」欄、そしてニュースはインターネットで済ませる。という具合にあの世への切符購入中です。(宮田靖子)
- ◆いつもありがとうございます。元気に過ごしています。(相木トシ子)
- ◆ぶどう作りに励んでいますが、天候不順で悩んでいます。「スカッと晴れて、適当に降って…」なんて事になってほしいですね。(山本浩)
- ◆元気でやっています。紫陽花の季節でたくさんの見学者が来られると思いますので失礼します。(逸見良安)
- ◆町内会の行事があり出席できません。御盛会を！ 天気が悪い中農家の仕事をボチボチやっています。(逸見健治)
- ◆残念ながら足腰弱り、思うに任せません。御盛会を祈ります。日本国憲法を守る。3度沖縄を犠牲にしない。福島はじめ地震津波原発の被害者を見放さない。一日も早く原発を撤廃する。共に頑張りましょう。(高階重和)

- ◆連絡ありがとうございました。実は私三年前転倒し、左足大腿骨骨折しまして、唯今やっと杖をたよりにゆっくりしか歩くことが出来ません。皆様と行動を共にすることは無理としますので欠席させていただきます。皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいませ。ありがとうございました。(米山加住女)
- ◆77 才になります。健康に過ごしていますが、昨年岡山医療センターで「後縦靭帯骨化症」の手術を受けました。近所のプールで水泳や水中歩行などして健康維持につとめています。(和田誠也)
- ◆ご盛会を祈りあげます。(道信千昭)
- ◆当日は所用がありまして欠席させていただきます。(小川憲一)
- ◆内外情勢を見るだけでも結構多忙です。消滅寸前集落に住んでいるため、今なお地域社会のボランティア事業・町内会の役職から解放されません。高退教総会も、町道草刈作業と重なってしまいました。2015 年活動計画、賛成しますが、へき地に孤立し、なかなか行動に参加できず申し訳ない、と思っています。(赤座匡)
- ◆人工透析をはじめて 7 年目になります。トンカチボランティアをはじめて 20 年を過ぎました。体力は落ちましたが、出来るだけ頑張ろうと思っています。(花谷純夫)
- ◆これが人生か。何で私の妻がガンになったのか。(2014 年 9 月肝内胆管癌で死去) 自問しても答えの出ないことへのさびしさをもどかしく思いながら日々あえいでいる。精神的にはこんな感じです。実際の生活は早起き(6時頃)、ラジオ体操と朝食づくり、畑仕事、田仕事。最近は熱中症にも注意しつつ、夜は早寝する。規則正しい日常生活を心がけながら。こんな生活をしています。支部総会が楽しみです。(垂井一新)
- ◆お互いに年齢に応じて体調に気をつけて頑張りましょう。(草地浩典)
- ◆昼からの講演を楽しみにしています。(宮田克己)

以上の他83通の出欠のお返事がありました。